

令和3年度 事業報告書



令和4年3月31日
社会福祉法人 唐池学園

目 次

社会福祉法人 唐池学園	．．．．．	P 1
児童養護施設 唐池学園	．．．．．	P 7
児童養護施設 強羅暁の星園	．．．．．	P 11
乳児院 ドルカスベビーホーム	．．．．．	P 15
保育所 吉岡保育園	．．．．．	P 21
保育所 つぼみ保育園	．．．．．	P 25
障害者支援施設 貴志園	．．．．．	P 29

令和3年度 社会福祉法人唐池学園 事業報告書

○ 全体の総括

令和3年度に強化する取り組みとして位置付けた6つの項目のうちの5つについて、ある一定の目標を達成した。詳細は、以下のとおりである。

No.	項目	進捗状況	達成度	備考
1	中長期的な事業運営及び施設整備計画の策定のためのヒアリングを実施	7月にアンケートを実施し7/19の法人運営会議で方向性を示した。	○	各施設の大枠の方針を把握した
2	会報「雑品倉庫」の発行継続と内容の充実を図る	令和3.7発行 ※500部増刷	◎	2,500部 寄附金の増
3	財務規律の強化のための会計研修及び予算・決算ヒアリングを強化	会計研修開催(R4.2.4) 決算ヒアリング(未実施) 予算ヒアリング(未実施) *コンプライアンス講座の中で 経理規程の注意点等を説明 (No.5 関連)	△	コロナ禍等による 決算及び予算ヒアリングの中止 方法等につき R4 年度に検討する。
4	各施設の就業規則の整合性の確認と必要な整備を図る	・9/17 原田顧問社労士を加えた情報交換のチャットグループ開設。 ・9/27 法人運営会議で会計に係る法人規程の整備検討を行った。	○	・原田顧問社労士と各施設とのやり取りで、変更等の作業が順調に進んでいる。 ・法改正にあたっての法人全体の統一性に課題を残した。
5	法人全体の人材育成の強化	新任職員研修：3回 中堅職員研修：0回 法務：1回(コンプライアンス) 会計：1回(インボイス制度他) 労務：1回(ハラスメント防止) IT関係：4回	○	*コロナ禍に則した業務効率化を図るツールの研修を新たに実施した。
6	地域における公益的な取り組み「吉岡買物支援プロジェクト」協力の継続	車輛及び人員の貸出し	○	コロナ禍の中、地域のニーズに対応し、法人の知名度向上に寄与した。

※ ◎、○、△、▲、×の5段階で自己評価

【その他特記事項】

- ・ 慶弔見舞金規程の制定 (5月)
- ・ 経営コンサルタントとの業務委託契約の締結 (6月)
- ・ 唐池学園隣接地 計4筆の購入 (個人2筆(7月)、綾瀬市2筆(3月))
- ・ ビジネスチャットツール「チャットワーク」の導入 (9月)
- ・ ZOOMの普及促進・契約更新 (10月) ※ 5→7ライセンスへ
- ・ 強羅暁の星園の敷地に係る協議 (10/26、12/16、12/28)
- ・ ドルカスベビーホーム クラスタ対応 (2月)
- ・ 産業医との業務委託契約の締結 (3月)

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部計画した研修を予定どおり実施することができなかったが、ZOOM を活用してオンラインまたはハイブリッドで行うなど、今後の同様なケースでの対応も視野に、開催方法を工夫して積極的に実施した。

例年4月に開催してきた新任職員宿泊研修については、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響で受講できなかった令和2年度採用職員も含めて、緊急事態宣言が解除された後の11月に実施した。

令和2年度採用職員については、昨年度末の3月12日になってようやく採用職員の半数を対象に開催でき、残る半数（強羅暁の星園）は、今年度に入り令和3年4月7日に開催し、採用からほぼ1年を経過しての研修であったが一定の効果が見られた。

中級職員研修については、全体スケジュール調整等の関係上、実施を見送った。

その他、法人主導で実施した会計研修では、11月理事会で柏倉監事からアドバイスを受けたインボイス制度や、改正電子帳簿保存法への対応などについて学んだ。

2 研修実績報告

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	R3年度新任職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人としての基本的な心得（理事長） ・人権擁護と虐待の防止（田中理事） ・宣誓（新任職員） 受講者：R3 新任職員（13名）
4月7日	R2年度新任職員研修 （強羅暁の星園職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人としての基本的な心得（理事長） ・人権擁護と虐待の防止（田中理事） 受講者：R2 強羅暁の星園の新任職員（7名）
8月24日	コンプライアンス講座	法人の定款、定款細則、経理規程等の内容とポイント等 ※オンライン(ZOOM)併用のハイブリッド開催 講 師：勝俣事務局長 協 力：田中理事 受講者：施設長4名、事務担当者4名
9月9日	ハラスメント防止研修	各施設のハラスメント相談窓口の担当職員等を対象に実際に相談があった場合の対応方法等を学ぶ。 ※オンライン(ZOOM) 講 師：原田顧問社労士 進 行：勝俣事務局長 協 力：田中理事 受講者：相談窓口担当者等9名
9月13日	チャットワーク・ デモンストレーション	業務の効率化等を目的として、ビジネスチャットツール「チャットワーク」と「ZOOM」の機能などについて学ぶ。 ※オンライ(ZOOM)開催 講 師：チャットワーク社に依頼。 受講者：各施設の長他9名
9月14日	チャットワーク・ デモンストレーション	同上 受講者：各施設の長他9名
10月22日	ドキュワークス・ デモンストレーション	業務の効率化を目的として富士フィルムの複合機のソフト「ドキュワークス」の機能等を学ぶ。 講 師：富士フィルムに依頼。 受講者：各施設の長他8名

実施月日	名称等	内 容 等
10月27日	チャットワーク・ デモンストレーション	業務の効率化等を目的として、ビジネスチャットツール Chatwork の機能等を学ぶ。 講 師：チャットワーク社に依頼。 受講者：富岡理事、田中理事
11月 29～30日	R2・3年度 新任職員宿泊研修(箱根)	・理事長講話 ・職場の報・連・相とコミュニケーション ・体験発表(グループワーク) 講 師：貴志園 小川部長、塩田課長 受講者：R2 新規採用職員：12名 R3 新規採用職員：13名
2月4日	会計研修	・インボイス制度について ・改正電子帳簿保存法について ・予算編成及び決算で注意すべきこと ※オンライン(ZOOM)開催 講 師：西迫会計事務所 石井氏 協 力：福祉・医療コンシェルジュ(株) 小泉氏 受講者：各施設の会計担当者 10名

○ 年間行事等報告

1 会議等

実施月日	名称等	内 容 等
5月11日	第三者委員会	令和2年度報告等 主任児童委員3名、理事長以下10名 ※オンライン(ZOOM)併用のハイブリッド開催
5月24日	監事監査(業務)	柏倉監事(ZOOM)
5月26日	監事監査(会計)	長井監事(久良岐乳児院を訪問)
5月28日	理事会(R3-第1回)	1 決議事項 ①R2-事業報告及び計算書類等の承認の件 ②次期役員選任候補者の推薦の件 ③次期評議員選任候補者の推薦の件 ④次期評議員・選任解任委員の選任の件 ⑤評議員選任・解任委員会の招集の件 ⑥定款の変更の件 ⑦唐池学園の隣接地購入の件 ⑧吉岡保育園の基本財産(建物)増加の件 ⑨R3-第1次収支補正予算(案)の承認の件 ⑩慶弔見舞金規程の制定の件 ⑪つぼみ保育園の改善計画の件 ⑫定時評議員会の招集の件 2 報告事項 ア) 理事長の職務の執行状況 イ) R2 神奈川県指導監査の結果 ウ) 児) 強羅暁の星園園長職務代理者設置

実施月日	名称等	内 容 等
6月9日	評議員選任・解任委員会	次期評議員の選任について 評議員選任・解任委員4名 理事長、勝俣事務局長
6月12日	定時評議員会	1 報告事項 (1)R2-事業報告の件 (2)慶弔見舞金規程制定の件 2 決議事項 ①R2-計算書類・財産目録の承認の件 ②理事6名及び監事2名の選任の件 ③定款の変更の件 ④唐池学園の隣接地購入の件 ⑤吉岡保育園の基本財産(建物)増加の件
6月12日	理事会(R3-第2回)	1 決議事項 ①理事長の選定の件 ②ドルカスの幼児死亡案件の今後の対応の件 ③強羅暁の星園の施設長の選任の件
10月6日	県子ども家庭課と打合せ	唐池学園と強羅暁の星園の施設整備について 県:長谷川課長以下4名 理事長、勝俣事務局長、安部指導員
11月5日	理事会(R3-第3回)	1 決議事項 ①R3-第2次補正予算(案)承認の件 ②法人本部繰入金の算定ルール提案の件 ③ハラスメント防止規程の変更の件 ④就業規則(ドルカス、保育所、貴志園)変更の件 ⑤つばみ保育園の園規則の変更の件 2 報告事項 (1)理事長の職務執行状況報告 (2)強羅暁の星園-コンサルティング状況報告 (3)つばみ保育園-運営改善状況報告 (4)放課後等デイサービス「にじいろ」運営改善の件 (5)その他 ・ドルカス案件の経過 (R3第2回理事会-第2号議案) ・法人規程制定の検討について
3月11日	理事会(R3-第4回)	1 決議事項 ①R3-第3次補正予算(案)の承認の件 ②R4事業計画案の承認の件 ③R4収支予算案の承認の件 ④経理規程の変更の件 ⑤各施設の就業規則の変更の件 ⑥貴志園の運営規程の変更の件 ⑦吉岡保育園の園規則の変更の件 ⑧役員賠償責任保険契約の締結の件

実施月日	名称等	内 容 等
		⑨唐池学園の定員変更の件 ⑩産業医導入の件 2 報告事項 (1)法人からの報告事項 ア 強羅暁の星園の土地問題に関する白百合学園との交渉状況 イ 綾瀬市との土地売買契約の締結状況 (2)各施設からの報告事項 ア 強羅暁の星園 — コンサルタント状況報告 イ ドルカス — コロナ対応の結果等 ウ つばみ保育園 — 運営改善状況報告

2 指導監査

実施月日	施設名称等	内 容 等
10月7日	強羅暁の星園	指摘事項なし

3 委員会

実施月日	名称等	内 容 等
5月17日	懲戒委員会①	強羅暁の星園の案件
6月2日	懲戒委員会関係聞き取り調査	強羅暁の星園の案件 田中理事、勝俣事務局長
6月12日	懲戒委員会②	強羅暁の星園の案件
9月7日 <u>Zoomにて</u>	広報・研修委員会(第1回)	R3 新任職員(宿泊)研修の内容等について
1月11日 <u>Zoomにて</u>	広報・研修委員会(第2回)	会報「雑品倉庫」について

4 その他

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	辞令交付	新任職員13名、昇格5名、その他9名
通年(随時)	法人運営会議(施設長会)	実施月：4/23、6/28、7/19、8/27、9/27、10/18、12/27、2/3、3/29 (計9回)
通年(随時)	事務担当者会議	実施月：4/5、1/21 ※コロナ禍のため、8/25以降、例月の開催を見直し、通常の事務連絡や情報交換等は、チャットワークへ移行

○ 全体の総括

コロナ禍での生活も2年が経過し、感染防止の中でも少しずつ可能な活動や行事の機会を多くしてきている。子どもたちにとって日々の生活を意欲的に取り組めるために、活動の場や行事、催しがいかに大事かを改めて感じている。

しかし3年度も高校生男子の問題行動による退所があり、子どもたちに事情を説明できない退所や2名の障がい児施設への措置変更などから、不安感や喪失感を抱いている子どもも少なからずいる。その気持ちの揺れへのフォローも考えていきたい。

年間3名の職員が感染してしまったが、子どもたちには幸い感染者がなかったことは職員の努力と子どもたちの協力のお陰である。ご家族がワクチン接種を含め感染防止に理解を示し、協力的であったことも大きい。

だがコロナ対応の職員負担は大きく、職員に体調不調の者が続くことの要因の一つだろう。1ヶ月以上の休養を必要とする職員が計7名となり、職員全体で協力しながら子どもたちや家族の支援に支障をきたさないようカバーすることができたが、1年を通しての職員の過重な労働に頼ってしまった。現在も欠員状態の改善ができていない中、職員の勤務の正常化といかにモチベーションを保つかという課題が残されている。

○ 取り組みの結果

1 子どもへの支援

(1) 安全、安心な生活の保障

- ・日々のやり取りで躓きがちな子どもが多く、トラブルを回避することに意識がいきがちで、良い面を見ることほめる機会を多くする視点が少なかった。
- ・各小中高会議での「みんなの約束」の読み合わせや3回聞き取り、再発防止委員会での検討や提案などを通して暴力、暴言、威圧防止に取り組んだ。
- ・1号室の浴室改装、各部屋では家具や家電の買い替えなどにより生活環境の整備を行えた。週1回の厨房による手作りおやつ提供はみんなの楽しみになっている。

(2) 子どもの課題には児相とも協力し、一時保護や家族整理もしながら取り組んでいる。

(3) 「性の対応マニュアル」について話し合いを重ね、完成に向かっている。

(4) 生い立ちや家族についての取り組みは個々のケースごとに検討し、実施してきた。

(5) 3名の高卒児はそれぞれ自立又はGHへ移行し、その後の見守りを継続している。

2 親・家族との関わり

(1) コロナの職員の感染の際や子どもたちのワクチン接種の同意など協力的であった。

(2) 家族状況の不安定さもあり見立てが難しいケースも多いが交流は丁寧に行っている。

(3) 児相の親子支援班の利用は多くなっている。自立支援計画の話し合い、生い立ち整理への保護者の参加も促してきた。

3 地域や他機関等への支援、及び連携

(1) 子育て支援の社会資源としての役割

- ・地域の活動は中止が続いたが、市要対協など開催時は参加してきた。
- ・対外行事は中止としたためボランティアを呼べる機会は作れなかった。
- ・感染状況により里親サロンの開催や里親会行事への参加など、可能な支援の機会を持つことができた。

(2) 関係機関との連携、協力

- ・児相との自立支援計画策定は前半に行えたが、感染によりカンファレンスの延期が重なり、ケースの停滞や家族交流の進め方に支障が出たものもあった。
- ・幼稚園との連絡会は実施できたが小中学校とは実施できず、連携に課題を感じた。
- ・貴志園との話し合いは例年通り持て、ドルカスとの心理士同士の話し合いも継続した。卒園生の件ではあすなろ SS に多大な協力をしてもらっている。
- ・地域行事は中止がほとんどだったが、施設長らによる老人の買い物支援など継続。

4 職員の資質の向上

- (1) ・子どもの特性や対応について園内研修や Zoom 研修を利用し学習の機会を持った。
 - ・被措置児虐待の再発防止について全体での振り返りの機会が少なかった。
 - ・職員の病休などで余裕のない状況が続き、学習や検討の場は例年より持てなかった。
- (2) ・人数の多さや年齢幅の大きさ、また Zoom 会議も多く十分な検討は難しかった。
 - ・若手職員が意見を出し合える場として「若手の会」を開催した。

○ 職員構成

令和4年3月31日現在

	施設長	FSW	里親支援 専門相談 員	職業 指導員	保育士 指導員	心理士	事務	栄養士	調理員	合計
常勤	1	2	1	1	26	1	1	3		36
非常勤					10	2	1		3	16

○ 定員等

令和4年3月31日現在

区分	本園	GH よんの家	GH ななの家	(社会的養 護自立支援 事業対象)			合計
定員	45	6	6				57
暫定							
現員	35	5	5	2			47

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 新任職員の育成

- ・講義のオリエンテーションはできたが、各部屋での研修が実施できないまま。
- ・職員同士の交流の機会が持てず、若手職員や GH 職員へのフォローが課題。

(2) 職員全体の質の向上

- ・再発防止委員会での検討は継続したが、全体の検討までは実施できなかった。
- ・Zoom 会議もあり情報共有や検討、具体的な取り組みの話し合いは不十分であった。
- ・年度後半は可能な行事やレクを計画し、楽しむ機会を持たた。
- ・栄養士や厨房とは GH の夕食作りや職員欠員カバー時の食事の提供などで連携。

(3) 建て替えに向けて取り組み

- ・将来に向けての養育や働き方の検討は病休や感染のカバーのため後回しとなった。
- ・国や県の動向の情報は会議で報告してきたが、理解の差は否めない。
- ・定員 40 名の減少について全体での共有の時間が少なく、職員間に混乱が出ている。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1・2	新任職員オリエンテーション	石合、亀田、森田
9/8	中高生インターネットネット研修	中高生・ケース職員等
10/13	ミニ研修会「発達障害について」 講師 磯ヶ谷園内心理士	山下、石合、堀口、 風間、亀田、三浦、 本間、森田、千葉 加園
11/2	CAP 研修	山下、石合、堀口、 亀田、三浦、本間、千 葉、森田

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1 8/23 11/29～30	法人主催 「新任職員研修」 「コンプライアンス研修」 「新任職員宿泊研修」	石合、亀田、森田 大西 山下、堀口、本間 橋本、石合、亀田 森田、鶴飼、加園
2/4	「会計研修」	大西
5/3 10/4・10/15 11/19 1/13、21	県中央児相主催 「子どもの意見表明支援事業研修」 県社協主催「人権研修」(Zoom) 県子ども家庭課主催「基幹的職員研修」 (オンライン)	鶴飼、加園 宮内、本間、山下 黒川、齋藤、三浦 田中、葛屋
3/9 9/14 2/15	県社協主催 理事長・施設長セミナー 「職員のメンタルヘルス」 県栄養士会主催「栄養士研修会①」(Zoom) 「栄養士研修会②」(Zoom)	鶴飼 田村、橋本 橋本
12/8	全養協主催「児童福祉施設長研修会」(オンライ ン)	鶴飼
12/8 2/4	関東ブロ児童養護施設職員研修 (オンライン) 関東ブロ福祉施設事務・運営管理者研修	風間、川崎 大西
	神奈川県児童福祉施設職員研究会	森
	養護問題研究会	安部、
6/25 他	児相主催「里親講座」 家庭養育支援センター・ひこばえ共催 里親研修会①②③ (Zoom)	鶴飼、望月、加園 加園
11/4	綾瀬市消防本部主催「普通救命講習」	森田
9/13 他	NPO 法人チャイボラ主催 (Zoom) 社会的養護施設職員向け研修会	千葉、亀田、桑原 葛屋、門間、 森田、三浦

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	1・2日 新任職員オリエンテーション 5日 中1入学式 始業式 6日 小1入学式 入学進級祝う会食 21日 新任職員歓迎会	1日 法人辞令交付 10日 小学校支援級懇談会 28日 幼稚園との連絡会
5	3日 (子どもの日) 青空フェスティバル *職員健康診断	11日 法人第三者委員会 28日 法人理事会
6	10・18日 厨房害虫駆除 11～12日 小6修学旅行 26日 厨房会議	12日 法人評議員会、懲戒委員会 臨時理事会
7	21日～小中高夏休み 27日～幼稚園夏休み *児童健康診断 (～8月)	
8	20日 バーベキュー (各部屋) 21日 夜間避難訓練	26日 綾瀬市主任児童委員来園
9	1日 始業式 炊き出し訓練 8日 中高生以上インターネット研修	9日 法人研修会
10	9日 小学校運動会 15～17日 中3修学旅行 16日 幼稚園運動会 29日 中学校体育祭	
11	2日 園内研修会 6日 オータムレク 24～26日 小1～4年CAP研修 27日 インフルエンザ予防注射接種	5日 法人理事会 29～30日 法人新任研修
12	9日 厨房害虫駆除 15・16日 小5, 6年CAP研修 11・18日 大掃除 24日 クリスマス会 (各部屋) 25日～冬休み 28日 もちつき *職員忘年会 (4班)	
1	1日 元旦祝賀会 (各部屋) 11日 学校始業式	
2	2日 節分・豆まき (各部屋) 28日 幼稚園発表会 *中3入試	
3	9日 中3卒業式 18日 小6卒業式 卒業生を祝う会 (各部屋) 19日 幼稚園卒園式 25日 小中学校修了式 27日 消火訓練 (綾瀬市消防本部来園)	11日 法人理事会

令和3年度 強羅暁の星園 事業報告書

○ 全体の総括

園長不在の不安定なスタートだった東京オリンピック&パラリンピックを迎えたこの年。諸所、様々なサポートを頂きながら乗り越えることのできた1年だったと言える。

7月からは5年間続いた佐藤健園長体制を引き継ぎ、経営コンサルタントの佐藤匡史氏協力のもと多くの課題の整理を行った。そのため当初の事業計画とは大きく異なり、半年間で20項目を超える新たな取り組みの実施や準備を進めるに至っている。

大きな変革や新型コロナウイルスによってもたらされている新しい生活様式にも柔軟に対応した。施設内で陽性者を1人も出さず、安定した生活ができたのは、当園で暮らす子ども達の協力と職員の向上心の賜物である。

建物は古くとも、若い力で「新しい児童養護施設様式」を強羅から発信していきたい。

※令和3年7月以降追加的に取り組んだ内容については最終頁「○補足」参照

○ 取り組みの結果

①箱根町地域における子育て支援事業の連携強化と一部事業の受託調整

年度当初、箱根町から業務委託の要望があったショートステイ事業については町の早期予算化が困難な状況となったが、担い手となりうる里親開拓に向けフォスタリング事業の協働からスタートするに至った。

②児童福祉施設における看護師職員の連携体制の構築

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い施設との情報交換や連携については滞ってしまったものの、西湘管内の保健師や児童の通う小、中学校の養護教諭とは密に連絡を取り合い、性教育や感染対策マニュアル作成の実施に至った。

③人材確保を目的としたオンラインシステムの導入

NPO法人チャイボラに登録し、オンラインによる人材確保や職員育成のための研修機会を設ける新たな体制を整えた。さらに、今年度は感染対策をした上で、学生と直接対面で話せる機会も増え50名を超える応募があり職員の充足に至った。

○職員構成

令和4年3月31日現在

職種	園長	統括主任	事務員	指導員 保育士	家庭支援 専門相談 員	里親支援 専門相談 員	個別対応 職員
常勤	1	0	1	12	2	1	1
非常勤	0	0	1	2	0	0	0
職種	自立支援 担当職員	看護師	栄養士	心理士	嘱託医	合計	総数
常勤	1	1	1	0	0	21	25
非常勤	0	0	0	0	1	4	

○定員等

定員50名（神奈川県47名 相模原市3名）現員46名

令和4年3月1日現在

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男	2	1	1	0	0	2	1	0	1	2	1	4	2	2	2	21
女	2	2	2	2	1	3	1	1	2	2	2	2	1	1	0	25
計	4	3	3	2	1	5	2	1	3	4	3	6	3	3	2	46

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

- ① 例年、参加していた研修のほとんどが新型コロナウイルスの影響で中止になった。
しかし多くの研修がオンライン化したことにより、今まで遠隔地で参加することが難しかった短時間の研修も、容易に参加することができるようになった。
- ② 外部との交流は制限されたものの職員のメンタルヘルス改善を目的とした外部の臨床心理士や、経営コンサルタントとの1 on 1を実施する中で、職員個々の課題や施設の課題を整理することができた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員数
7月7日	「メンタルヘルス」と「セルフケア」	17名
10月27日	「児童相談所のお仕事」(児相と施設のより良い連携)	9名
11月26日	中堅研修「被措置児童等虐待の傾向と対応」	7名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月7日	(福)唐池学園主催「新任職員研修(人権擁護と虐待の防止)」	9名
5月31日	県中央児相主催「子どもの意見表明支援事業普及啓発研修」	3名
6月13日	養問研「社会的養護における高卒後の進学について」	2名
7月5日	関東プロ「多様なニーズに応える地域支援拠点へ」	1名
7月16日	かながわ福祉サービス運営適正化委員会主催 「苦情対応に求められる基本的視点」・「苦情対応の実践」	1名
9月14日	県社協児童福祉施設協議会主催「食品添加物について」	1名
10月4日	県中央児相主催「児童福祉施設職員研修(人権研修)」	5名
10月11日	NPO 法人チャイボラ主催「性・性教育の必要性と実践」	1名
10月12日	みらいこども財団主催「在所児のケア・アフターケア全般」	2名
10月15日	県中央児相主催「児童福祉施設職員研修(人権研修)」	3名
10月20日	NPO 法人チャイボラ主催「児童福祉法を知ろう」	2名
10月27日	全養協主催「全国児童養護施設長研究協議会」	1名
11月5日	養問研「18歳成人を迎える社会的養護の現場での課題と展望について」	1名
11月8日	チャイボラ主催「感情や行動をコントロールできない子どもの理解と支援」	3名
11月19日	県中央児相主催「児童福祉施設職員研修②(人権研修)」	7名
11月19日	NPO 法人チャイボラ主催「0～5歳児向け発達を促す遊び」	1名
11月29日 ～30日	(福)唐池学園主催 「令和2・3年度新任職員フォローアップ研修」	6名
12月3日	小田原児相主催「児童相談所の連携と子どもの見立て方」	4名
12月6日	県中央児相主催(施設長対象)「子どもの権利について」	3名
12月14日	「食物アレルギーの基礎知識と緊急時のエピペン対応」	1名
1月13、21日	県福祉子どもみらい局主催「基幹的職員研修」	3名
1月24日	小田原児相主催「児童虐待問題研修会(事例検討会)」	4名
2月4日	(福)唐池学園主催「会計研修」	1名
2月15日	児童福祉施設協議会栄養士会主催「食物添加物について」	1名
2月19日	(株)ひとまち主催「ケース会議セミナー」	1名

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4		保育園入園式 小・中・高入学式
5	児童職員健康診断 施設内レク大会	
6		
7		中学校三者面談 終業式 夏休み
8	夏の帰省	中学校環境整備
9		始業式
10	児童職員健康診断 園内ハロウィン	保育園運動会 小学校運動会 中学校文化活動発表会
11	お墓参り 七五三 消防署立会い訓練	中学校通学路清掃
12	園内クリスマス会 冬の帰省	小学校修学旅行 終業式 冬休み 強羅自治会地区清掃
1	どんど焼き	始業式
2	節分 あすなろ作品展	
3	ひなまつり 卒園を祝う会	中3お別れ遠足 小・中・高卒業式
その他		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種（随時） ・ホテルインディゴ強羅のバースデイランチ（毎月） ・避難訓練（毎月） ・誕生日会&バースデイ外出（随時） 		

○補足（令和3年度7月以降に追加的に取り組んだ内容）

1. 財務体質の改善（高収益化に向けたシュミレーション・コスト削減等）
2. 職員定着に向けた改革（シフトの見直し・業務効率化を目的としたデジタル化等）
3. 中、長期計画の準備・立案（建て替えに向けた準備作業等）

○ 全体の総括

今年度より新施設長になり、職員体制、役割、保育など今まで流動的に行われてきたことを再考した1年であった。本体施設の機械、配管が老朽化に伴い水漏れ、故障など、早急に修理が必要となる事項が多くあり対応に追われた。

1月末に施設内にて新型コロナウイルスへの感染によりクラスターが発生した。法人内でのバックアップと助言もあり、1ヶ月で終息した。発生してからの取り組みは看護師を中心に書面に残している。

養育の質の向上と平準化を図る為、各種マニュアルを作成中、随時更新をしている。完成したマニュアルは新任職員の指導に活用を開始。中堅職員には仕事内容を確認するための材料となっている。職員のメンタルヘルスにも更に力を入れた。

○ 取り組みの結果

1. 養育の質の向上・養育環境の整備

(1) 新型コロナウイルス感染防止の為、食育時間を短縮し小規模養育での調理の機会を増やした。また、調理や会食だけでなく、園内菜園を作り野菜の収穫等の体験を通じた食育活動を取り入れることで子どもたちの野菜に対する興味、関心が向上した。

(2) 新型コロナウイルス対応の為、密を防ぐ観点から面会制限を継続中、1家庭週1回、1日2組、2時間の時間制限を設けて受け入れを行っている。週末と祝日の面会希望が多くあった為、週末と祝日に限り面会枠を拡大した。また、家庭復帰予定の状況に合わせて柔軟に対応した。面会のケアが必要な家庭も多いため、制限を行ったことで丁寧な対応ができるようになった。面会時間は、親子関係、職員との関係においても信頼を築く大事な時間となっている。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止、環境改善事業費の補助金を受け、るる畳の居室の横に隔離室を増築した。

2. 職員の意思疎通を図る

(1) 日中のグループ会議を継続中。新型コロナウイルスの影響により、会議を見送ったこともあった。緊急事態宣言等、情勢の変化にて対応の変更がありその都度、回覧板を活用し情報の共有を行った。

(2) 新型コロナウイルスの対応について、随時話し合い連携を図った。施設内にて新型コロナウイルスが流行した際には、予め話し合った隔離体制を参考に対応を行った。感染防止の対応を統一させる為、メールを活用し周知した。

3. 子どもの権利擁護という視点での養育

(1) 「人権ヒヤリハット」「人権にやりホット」アンケートを継続実施し、日頃の養育の振り返りにつながっている。

4. 職員のメンタルヘルス

- (1) 臨床心理学博士テリー先生による面接を月1回3名実施。第3者に相談できる場が職場内にあることでメンタルヘルスに繋がっている。

5. 里親・里子支援

- (1) 里親委託後の相談やフォローを見相、CWと連携して共に取り組む機会が増えた。
- (2) 施設内のクラスターにより、里親交流が中止となったがzoom面会を実施することにより里親との関係を繋げた。

6. 修繕及び整備内容

- (1) 厨房、養育室共に配管が経年劣化により破裂し床下に水漏れを確認。給湯管補修工事を行った。
- (2) 唐池ハイツ裏山を購入、整備、補修を行い職員駐車場を拡大した。
- (3) 引き込み線の電動・動力ブレーカーが落ち、停電となった。エアコン他、機械系統の点検を行い問題はなかった。ブレーカーの耐久年数が超過していたため交換を行った。
- (4) 第2駐車場の蜂の巣除去を行い、対策としてコンクリート処理をした。

○ 職員構成

令和4年3月31日現在

	施設長	家庭支援専門 相談員	里親支援専門 相談員	心理 相談員	事務員	里親センター
常勤	1	2	2	1	1	1
非常勤						3

	看護師	保育士	児童指導員	栄養士	洗濯・掃除	嘱託医	合計
常勤	3	19	4	3 (1)	0	0	38
非常勤	2	2	1	1	4	1	14

() は、うち産休育休中職員

○ 定員等

令和4年3月31日現在

定員 25名 現員は下表

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		合計
措置児	5名	7名	3名	0名		15名
一時保護児	3名	1名				4名
レスパイト						

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 全国乳児福祉協議会研修体系に基づいた人材育成を取り入れ、職員のレベルに合わせた研修に参加できるように計画を立てたが、新型コロナウイルスの影響を受けて多くの研修がオンラインとなり、施設内にてそれぞれ参加した。

(2) マニュアルは作成中。完成したマニュアルについては、新任指導にて活用を開始している。全職員を対象にマニュアルについてのアンケートを実施した。活用実績の把握と取り向くべき課題が見つかった。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

	実施日	研修名	受講職員
法人	4/1	新任職員オリエンテーション (於ドルカス)	小杉・佐藤・山下・巻嶋・杉江・小玉
	11/29～30	新任研修	中野・佐藤・巻嶋・杉江・小玉 山下
	9/9	ハラスメント防止 オンライン研修	金木・久保田
院内研修	7/16	院内研修「自立支援のとりくみ～措置解除後の子どものアフターケアを見据えて～」 【福本啓介氏】	32名
	9/16、11/16	院内研修「救急法」【彦坂康郎氏】	35名
	1～3月	オンデマンド研修動画を各自で視聴	

(2) 施設外研修

	実施日	研修名	受講職員
県内乳児院関係	5/24	看護師合同研修会(於 県社協) 新型コロナ 感染防止対策の情報交換	春日・清水・栗原・川上
	7/30	合同研修(於 久良岐・オンライン) 【山中 達也 氏】	川上・石川
神児研	5/27	乳児部研修 【彦坂康朗氏】 救急法	川上・山下・杉江
	6/29	中堅研修 チームビルディング	小林(志)
全乳関係 ロブ	8/23	全乳協研修会 オンライン	木股
	10/6	全乳協議会	清水
	2/8～2/18 視聴 2/25 zoom	乳児院医療・看護セミナー オンライン	設楽
	2/8～2/18 視聴 3/1 zoom	上級職員セミナー オンライン	山中
	10/11～10/3 視聴 11/1 zoom	関ブロ研修会	柏柳・栗原
	10/22	関ブロ協議会	小林(美)

子ども 虹	7/21	乳児院指導者研修 オンライン	山口
	5/13	心理担当職員合同研修 オンライン	金木
	3/17	テーマ別研修 zoom	橘川
里親 関連	5/29 6/5	里親登録前研修	杉浦
	6/7	県域里親支援専門相談員新任研修	杉浦
	6/18	支援者向け養子縁組に関する研修	渡辺(み)・杉浦
	9/24	里親担当者全体会研修会 事例発表	渡辺(み)・杉浦
	10/28	里親支援専門相談員フォローアップ研修 事例	杉浦
	9/10 9/15 10/28	里親オンライン研修会	渡辺(み)・杉浦
	11/27	里親委託推進交流会	渡辺(み)・杉浦
	2/24	里親担当者会全体会	渡辺(み)・杉浦
	2/25	里親支援専門相談員研修会	渡辺(み)・渡辺
その他		基幹的職員研修 オンライン	春日・久保田
	5/31	子どもの意見表明支援事業 普及啓発事業研修	藤井・渡辺
	7/6～7/19 で視聴	子ども虐待予防研修 演習	菅原
	8/31・9/1	家庭養育機能支援子育てワークショップ	石橋
	10/4 10/29	児童福祉施設職員研修 人権研修 新任 県社協	井上
	10/15 11/19	児童福祉施設職員研修 人権研修 中堅 県社協	小林(志)
	11/22～12/6	西日本こども研修センターあかし 虐待の世代間伝達を断つために私たちが できることを考える オンデマンド	中川・佐々木
	10/30	子どもの虐待防止セミナー マルトリート メントが子どもの脳の発達に与える影響 【友田明美氏】オンデマンド	金木
	12/14～12/15	中級職員・チームリーダー専門研修会 オンライン	横山(紗)
	10/14～12/14 で視 聴	小児保健研修 コロナ禍の子ども虐待とネグレクトなど	清水・春日・栗原
	10/13	心理士会研修 オンライン 統合失調症の母を持つこどもの こころの理解 【加藤枝里 氏】	柏木・山口・藤井 佐々木・渡辺・杉浦・ 金木
	2/21	心理士会研修 オンライン 家庭での育ちを次への育ちへつなぐ 施設の役割 【星野崇啓 氏】	中川・藤井・渡辺 杉浦・金木

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容		
	養育	食育	地域交流
4月	お花見 遠足・誕生日会	お食い初め・パン献立 魚献立	
5月	子どもの日の会 菖蒲湯 遠足・誕生会	子どもの日献立・魚献立 パン献立 お食い初め	
6月	遠足・誕生会	お食い初め・バイキング デザート作り 焼き魚献立	
7月	七夕会 遠足・一泊旅行	七夕献立・お食い初め バイキング・魚献立 土用の丑の日：ウナギ サンドイッチ	
8月	スイカ割り 花火 遠足	お食い初め・バイキング 土用の丑の日：ウナギ	
9月	バーベキュー 遠足・誕生会 お月見会	バーベキュー：流しそうめん 魚献立 お食い初め	
10月	ハロウィン 運動会 遠足・誕生会	お食い初め 運動会：お弁当献立	
11月	遠足・誕生会 秋祭り	魚献立 秋祭り：バイキング	
12月	クリスマス会 冬至（柚湯） 遠足・誕生会	クリスマス献立・鍋献立 大晦日：年越しそうめん バイキング	
1月	元旦・初詣 遠足・	元旦：おせち料理 七草粥・鏡開き バイキング・鍋献立	初詣
2月	遠足・誕生会 施設内にてコロナ感染拡大し ており実施せず	節分献立 お食い初め 鍋献立	
3月	ひな祭り 遠足・誕生会 総合避難訓練（唐池と合同）	ひな祭り献立 バイキング 煮魚献立 お食い初め	
毎月恒例：防災訓練・身体測定・嘱託医健診			

令和3年度 吉岡保育園 事業報告書

○ 全体の総括

新型コロナウイルスの感染症は、収束とならず玩具や、室内の消毒など感染対策は職員の労力に頼るところが大きかった。又、保護者の方々のご協力も頂き、自宅待機や発熱などの症状の報告など密に連携を取りながら、最小限に感染の広がりを抑えられた。

0歳児の入所者は、年度の後半に多くなることから、0,1歳児クラスで調整をしながら待機児のおひさまクラスとネーミングすることで職員や保護者の意識を変えることができ、待機児の受け入れを行えた。

保育環境については、子どもたちの活動を保証できるような環境づくりが出来たことで、子どもたちの育ちに大きなプラスとなった。

保護者参加の行事ができない中、子どもたちの日々の様子を言葉やHP、ドキュメンテーション、お便りなどによる配信の工夫も試みた。

修繕としては、計画通りに共同募金の配分事業を活用しテラスの日よけや雨よけなど整えることができた。職員のトイレも綺麗に改修し出来、快適に使えている。

園庭に時計台や、太陽光による夜間の除夜燈も敷地のまわりに取り付け夜間も明るくなった。

○ 取り組みの結果

職員と話しながら広くなった園庭の活用について話し合いながら、自然との関りを多く取り入れた保育実践を心掛けることができたが、継続した研修などの取り組みが必要と思う。

リトミックやたいそう教室、絵画教室等、専門の講師の指導もあり、より豊かな保育内容となった。職員もプロの指導者の方の指導法を学ぶ機会となったが、保育士も指導法を学ぶ意識が必要と思う。

配慮の必要な子どもについての研修は、もみの木の巡回訪問により、担当職員はカンファレンスなどにより、保護者と共に具体的な関り方を学ぶことができた。

研修については、コロナにより北里大学の原先生の来所がかなわず、来年度に持ち越しとなった。保育会研修発表についての研究や資料も整い4月の事業大会で発表となる。

○ 職員構成

令和 4年3月31日現在

	施設長	保育士	栄養士兼調理員	事務員	保育補助員
常勤	1	11	2		
非常勤		10		1	2

非常勤保育士の内2人は、常勤的非常勤、1人は派遣保育士

○ 定員等

令和 4年3月31日現在

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
人数	10	14	14	11	14	13	76

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

子どもの人権やハラスメントなど年2回の園内研修により理解が深まっている。保育指針の今年も新たな時代の保育実践～幼児期までに育ってほしい10の姿は、毎月の園内研修により更に理解を深めることができた。毎月の園だよりに実際の取り組みについて、写真など添えて配信もできた。非常勤職員への研修については、コロナ禍という事もあり工夫が必要である。

障害児保育は、講師の先生のご都合がつかず、持ち越しとなったが、もみの木の巡回指導により、カンファレンスなど密に行う事が出来、保護者との共通理解につながった。保護者支援や、子どもの対応など、職員のスキルを身に付ける上でも研修など検討課題である。保育士の保育のスキルアップとして、ピアノの得意な非常勤職員に指導をお願いし、実践に繋がり自信となった。今後もスキルアップを目指し、わらべ歌なども園内研修で取り組んでいく

研修は、リモートでの研修が多いが、移動などでの感染のリスクがないことなどでのメリットもあるが、対面でコミュニケーションをとりながらのグループワークなどが出来にくいことのデメリットもある。保育士交流の場を確保できるような工夫が課題と思う。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月	人権、保健衛生計画についてについて 保育内容について	常勤・非常勤職員
5月	救急救命について（エピペン、救命法）	常勤職員
6月	事故、けがに対する対処・振り返り 保育内容（幼児期までに育ってほしい10の姿） ア、健康な心と体	常勤職員
7月	防犯について 保育内容（Ⅱ）イ、自立心	常勤職員
8月	防犯について 保育内容（Ⅱ）ウ、協調性	常勤職員
9月	振り返り 保育内容（Ⅱ）エ、道徳性・規範意識の芽生え	常勤職員
10月	保育内容（Ⅱ）オ、社会生活との関わり	常勤職員
11月	保育内容（Ⅱ）カ、思考力の芽生え	常勤職員
12月	保育内容（Ⅱ） 振り返り	常勤職員
1月	保育内容（Ⅱ） ク、数量、図形、標識や文字などへの関心・感覚	常勤職員
2月	救急救命について（エピペン、救命法） 保育内容（Ⅱ） ケ、言葉による伝え合い	常勤職員
3月	期、年間の振り返り 保育内容（Ⅱ） コ、豊かな感情と表現	常勤・非常勤職員

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月	神奈川県保育事業大会 唐池法人新任研修	笹野 鮫島・杉浦・笹野
7月	関東ブロック保育研究大会 オンデマンド全職員視聴 キャリアアップ研修	常勤・非常勤職員 (研修担当) 笹野
8月	キャリアアップ研修	(研修担当) 笹野
9月	コドモン素材環境 唐池法人研修 「ハラスメント防止研修」	高田・吉村 祖父江・吉村
10月	保育を考える「子どもの生活科学研修所」	笹野
11月	唐池法人フォローアップ新任研修1泊 綾瀬市保育会研修「吉岡保育園研究発表」	鮫島・杉浦・村井
12月	障害児保育 ハッピー施設見学	高田・笹野
1月	キャリアアップ研修 「障害児保育」「乳児保育研修」	北村・中台・川上
2月	キャリアアップ研修 「障害児保育」「乳児保育研修」 早期療育普及研修	北村・中台・川上 濱田

3年度年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園進級式（1日） ・内科検診（6日）・歯科検診（8日） *誕生会（22日） ●お弁当の日（28日） ★クラス懇談会3才（23日）・4才（15日）・5才（9日） ・各種野菜の種まき等始まり 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・尿検査（25日） ・避難訓練総合（27日） ●お弁当の日（21日） *誕生会（20日） 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯予防のはなし（3日） ◎じゃが芋掘り（16日）まつカレー作り（21日） *誕生会・バイキング給食（24日） 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き（1日）・花火教室（2日） ・七夕まつり（7日） *誕生会・バイキング給食（15日） 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・おまつり会・まつ組お泊り保育（20日） *誕生会（26日） 	
9	<ul style="list-style-type: none"> *誕生会（16日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ・さくら組こどもの杜（24日）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・藍染め・内科検診（15日） *誕生会（21日） ●お弁当の日（29日） 	<ul style="list-style-type: none"> ★わくわく広場（23日）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンデーキャンプ（5日） ・野菜収穫・芋掘り（10日）・収穫祭（11日） *誕生会（25日） 	<ul style="list-style-type: none"> ★まつ・さくら組 バス遠足 「富士サファリーパーク」
12	<ul style="list-style-type: none"> ●お弁当の日（3日） ◎発表会（18日） ・クリスマス会（24日）*誕生会（16日） ・もちつき（23日）・観劇（24日） ・個人懇談会まつ組 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ●お弁当の日（4日）・どんど焼き（13日） ★個人懇談会（除まつ） ・切り干し大根作り（13日）・味噌づくり（28日） *誕生会（20日） 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき（3日） ・避難訓練総合（4日） *誕生会（10日） ●お弁当の日（24日） 	
3	<ul style="list-style-type: none"> *ひな祭り誕生会（3日）交通安全教室（22日） ・お別れ会（17日）お店屋さんごっこ（23日） ・防犯教室 ★卒園式（19日）お茶会（25日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ組お別れ遠足（25日） ・マラソン大会（24日）
その他	<p>保護者の参加 *…5歳児のみの自由参加 ★…対象者全員参加 ◎…全員自由参加 ・…子どもの活動</p> <p><毎月1回>・身体測定（20日）・避難訓練・外部講師（リトミック・体操教室・絵画教室） <10～6月> ●お弁当の日 <毎週1回>・園内開放中止 <年間3回>・つばみとの交流保育中止</p>	

令和3年度 つぼみ保育園 事業報告書

○ 全体の総括

- ・給食の業務委託が始まり1年が終わった。職員たちの戸惑いの中、現場からは要望の他にアイデアも伝えた。委託先の安田物産つぼみ保育園担当者の方々は、会社の方針の下つぼみ保育園の様々な意向をくみ取ろうと努力してくださった。クラスや個々の嗜好で違いがあったことが表面化し、園の中で話し合い意向をまとめる機会にもなったように感じた。
- ・新規採用者の保育士は2名。そのうち1名、経験者の保育士からは4月初めに退職希望を伝えられ、3ヶ月勤務して6月末で退職した。新卒でつぼみ保育園の卒園児の保育士は、一緒に組んだ先輩保育士をはじめ先輩職員に指導を受けてきた。5月に入職した経験者の看護師は、年度途中で退職した。他施設での経験者が数ヶ月で退職することが続いている事は、つぼみ保育園の課題である。
- ・未満児を中心に園児の受入れ数を増やした。点数が高い方が兄弟同時期同施設と希望されていた為、受け入れが思うようにいかない例もあった。受け入れの意向を示した後に引っ越しなどで辞退された例、在園児で引越や幼稚園への転園などの理由で退園した子どももいたため数字的には表れにくいのが、派遣保育士を増やし職員間での協力のもと受入れ数を増やす努力をした。
- ・平日の延長保育、土曜日の保育と保護者の求める保育時間を提供した。
- ・お子さんを育てながら勤務している職員も多く、保護者目線の保育を目指しやすと感じた。コロナウイルス感染の終息がない状況で、園でできる事を職員や派遣職員、安田物産の方々と協力し、園の休園がないように協力し合った。職員が各家庭の状況をくみ取る努力をし、各保護者に合わせて、子どもにとって良い方法を考え対応した。
- ・施設整備として、園舎の間の柵を耐久性のある柵を設置した。資金を検討しながら令和4年度も引き続き整備していきたい。令和4年度は、3歳以上児園舎の床の修繕とフェンスの修繕を行う予定。防犯カメラを増やすことも検討中。
- ・令和4年度に向けて保育士3名を採用した。2名は実習にみえた新卒者。1名は経験者。

○ 取り組みの結果

- ・コロナウイルス感染の状況に合わせ、日々の保育、園生活、行事を検討した。
- ・感染予防対策を、園の職員、派遣職員、安田物産の方々と行った。
- ・保護者の求める保育、ニーズに合った保育時間と内容の理解、できる事は何か前向きに考え、職員一人ひとり保護者に寄り添う努力をした。
- ・感染予防をしながら、野菜作りやクッキングなどできる範囲で食育にも力を注いだ。
- ・各職員、子どもとの関わり、保護者対応、他者への配慮など成長している。
- ・委託先の安田物産担当栄養士との意思の疎通は難しいと感じる事もあったが、上司の方々が対応してくださった。安全安心な給食を提供する事に関して、園側も安田物産側も意識は高い。アレルギー食や離乳食を含めた食に関して、会議だけでなく課題があるたびに委託先の責任者に伝え対応していただいた。
- ・委託先の提案に関して検討し意見を伝えた。バイキング食の内容や思いを委託先の責任者に伝え園の意向をくみ取っていただいた。行事食を可愛く盛り付けしていただいた。翌日の献立を把握している職員、その日に感想を伝える職員もおり、委託先の方々には感謝された。

○ 職員構成

令和4年3月31日現在

	施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理師	看護師	事務	その他
常勤	1	1	10	0	0	0	0	0
非常勤 週40時間	0	0	1	0	0	0	0	1
非常勤,週 20～40時 間未満	0	0	0	0	0	0	0	1
非常勤,週 20時間未満	0	0	3	0	0	1	2	0

嘱託医 茂木医師(内科) 近藤医師(歯科)

派遣保育士 3名

○ 定員等

令和4年3月31日現在

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	10	20	20	20	20	20	110
入所数	10	22	18	23	24	22	119

○ 人材育成

1人財育成にあたっての取組みの結果

(1) 会議

- ・以上児・未満児・給食関係(離乳食・アレルギー)会議・全体会議と行ってきた。コロナウイルス感染予防のため、令和3年度も代表者の出席による会議、書面での共通理解と工夫した。
- ・法人理事、監事の先生方をはじめ、法人の方々にたくさんのご指導ご意見をいただいた。今年度も摩尼先生に会議に出席いただきご指導をいただいた。

(2) 研修

- ・コロナウイルス感染予防のため、研修参加を見送った。また、研修が中止になることも多く、令和3年度もほとんど研修参加は出来ていない。
- ・園内研修で防犯・防災・心肺蘇生法・消火訓練などの研修、お子さんをあずかる立場として大事な研修も中止になった。可能な場合はDVDの貸し出しを依頼した。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
	A E D心肺蘇生法（綾瀬市消防署）中止	常勤・非常勤職員
	防災訓練 中止	常勤・非常勤職員
	防犯訓練指導 クラスごと DVD	常勤・非常勤職員
	消火・通報訓練 中止	常勤・非常勤職員

2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/7	法人新任職員研修	高梨
5/12	綾瀬市消防委員会	藤岡
7/2	乳児保育の意義・乳児の発達に応じた保育	伊津
8/24	法人コンプライアンス講座	藤岡
9/9	法人ハラスメント防止研修	山田、三澤
9/13	法人チャットワークでと ZOOM の機能説明	相馬
9/14	法人チャットワークでと ZOOM の機能説明	藤井、小幡、藤岡
11/20、11/27	障害者研修	伊津
11/29—30	法人新任職員研修	高梨
12/11	障害者研修	伊津
1/6,1/7,1/8,1/11	食育・アレルギー対応研修	木谷
1/15	食育・アレルギー対応研修	木谷
1/17,1/20,1/22,1/29	マネジメント研修	鈴木（菜）
1/21,1/24,1/26,2/15	乳児研修	原田
2/1,2/3,2/7,2/9,2/10,2/17	乳児研修	木谷
2/3,2/4,2/10,2/26	マネジメント研修	猿倉
2/4	法人事務担当者研修	藤岡

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	入園,進級式・保護会役員会・園児健康診断・松組5歳児筍掘り・子どもの日行事食	
5	交通安全教室 DVD・以上児尿検査	実習生受入 (和泉短大)
6	お店屋さんごっこ	
7	プール開き・職員ワクチン接種・消防クラブ任命式・花火指導・年長(3歳以上児) ボディーペンディング・すいか割・職員健康診断・キャンプ	実習生受入 (横浜保育専門学校)
8		
9	年長(3歳以上児) ボディーペンディング	実習生受入 (和泉短大) 支援員実習
10	お楽しみ会・保護者会役員会・職員インフルエンザ予防接種・運動会	実習生受入 (横浜こども専門学校)
11	年長(3歳以上児) 健康診断・年少(3歳未満児) 健康診断・梅組2歳児尿検査・ハロウィン・年少(3歳未満児) 運動会ごっこ・職員インフルエンザ予防接種・職員健康診断	習生受入 (フェリシアこども短大)
12	歯科検診・引渡訓練・発表会・お餅つき・クリスマス会(クラスごと)	発表会リハーサル、発表会 (文化会館)
1	郵便屋さんごっこ・給食バイキング	実習生受入 (フェリシアこども短大)
2	職員コロナウイルスワクチン接種・節分	実習生受入 (和泉短大)
3	ひなまつり誕生会・梅組2歳児クッキング・松組5歳児お茶教室体験・松組5歳児とのお別れ会・どんど焼き・焼き芋会・クラスごとお別れ遠足・4, 5歳児ドッジボール交流・卒園式	
<p>その他</p> <p>【毎月1回】— 身体測定・避難訓練・誕生会(クラスごと)</p> <p>【4月,5月,10月~1月の月1日】— お弁当の日</p> <p>※ コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止の行事多数あり</p>		

令和3年度 貴志園 事業報告書

1、全体の総括

新型コロナウイルスという未知の病原体によって、不安と制約の中での生活が余儀なくされている中、今まで当たり前に行っていたことができないことで、生活の質が下がり、知らずにストレスが生じ、それらが重なることで体調を悪くしたり、怒りや不満、自己嫌悪に陥るなどの二次被害によって、心と身体のバランスが崩れてかけている利用者が見受けられる。そのため、感染予防を行いながらも、最低限の生活の中でも喜びを見いださせていけるよう支援してきた1年であった。入所、グループホーム利用者については、4月から11月にかけて、小グループにて栃木県の旅館に宿泊するなどして、生活に潤いをもって過ごせるように努めた。

感染者は入所が1名、通所が2名（内濃厚接触者1名）、グループホームが0名であり、感染者が拡大することはなかった。

各部署の状況について、生活支援部門の入所は、職員の退職に伴い、職員減の状況による事業運営が余儀なくされる中、隔離棟での感染者対応等による業務の拡大も相伴って、管理面の強化をせざるを得ない状況が続いたが、他課からの協力も得て対応することができた。通所は、弁当注文が激減した他、ラッシュジャパン等受注作業が無くなるなど、収入減になったことで、利用者工賃の見直しを行うこととなった。一方で、高座施設組合屋内温水プールでのパンの販売、高座豚からの新規受注があるなど、継続した営業が実って新たな作業が増えた。

地域生活部門のグループホームは、コロナによる一般企業等との調整が多岐にわたったが、安定して事業運営することができた。相談支援事業は、綾瀬市内の在宅相談を行う中で、在宅単身障害者のコロナ感染者の対応をすることが増えたが、神奈川県、保健所、病院、訪問看護師等と調整、家庭訪問しての対応等を行うことで、病状の悪化や近隣者からの苦情もなく、現在も生活が続けられている。

在宅支援部門の放課後等デイサービスにじいろは、利用減や報酬改定の見直しによって、収入面で大きく影響することとなり、現体制を見直さざるを得ない状況となった。そのため、事業所の移転の調整を行い、次年度は貴志園敷地内にて事業を継続する予定であるが、厳しい状況が続くものと思われる。いずれにしても、コロナによる各部署への影響は大きいものであった。

2、取り組みの結果

(1) 中期運営計画における重点課題の結果（3か年計画の1年目）

①職員育成

部門	事業	取り組み状況	達成度
生活支援部門	施設入所支援	昨年度同様に朝の打ち合わせ、策定会議・課会議の場を活用し、職員間の共通理解に努めている。更に『意思決定支援事業』、『民間施設派遣研修』等、県の取り組みに積極的に参加し、自分達が日頃取り組んでいる事の評価を客観的に知る機会を設けている。	5
	生活介護・就労 B・移行・定着	事業の種別が違う中で、課員がケースの担当や事業に沿った役割を全うし、それぞれが個別の支援を行うことで、幅広い支援が出来る体制を整えた。	7
地域生活部門	地域生活援助事業	毎日の打ち合わせ、毎月の会議、策定会議等を中心に利用者支援についての共有や妥当性、支援の振り返り等を行い、職員同士で意見を出し合い支援に活かしている。	7

部門	事業	取り組み状況	達成度
	相談支援事業	毎週事の所内会議を活用し、新人職員を中心にスーパービジョンを実施、計画的に業務遂行するよう課長が進捗管理をおこなった。	7
在宅支援部門	放課後等 DS	日々の打ち合わせで個別の支援状況の確認や支援上の悩みを上げていく中で、具体的な取り組み方法などについて、職員間で共有すると同時に、実地でどのように支援していくかを具体的に確認する機会を多く設けることが出来た	7

②地域との連携・社会的責任の遂行

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	今年度もコロナ禍の状況の為地域との交流の場を設ける事ができなかった。新規利用者に関しては昨年度同様にゆいまーと連携し1名の新規受入を行うと共に、『綾瀬市緊急一時短期事業』を開始する等市や関係機関との連携に努めている。また2名の利用者に成年後見人が選任されている。	6
	生活介護・就労 B・移行・定着	コロナ禍の影響を受けながらも、協議会や連絡会に参加し、特別支援学校と連携しつつ新規利用者2名の確保に繋がった。地元畜産企業と連携し、新商品を開発することができ、販売に繋がった。	6
地域生活部門	地域生活援助事業	生活について（騒音・ゴミ出し）近隣からの話等上がった時は即座に対応し、大家等にも報告し理解してもらっている。利用者に対してもグループワーク実施し理解を深めている。課を越えた連携や、就職先等にも訪問し連携を図りながら利用者支援を行っている。	6
	相談支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により貴志園見学会は中止した。新規受入れ者の外部機関及び園内連携は図れている。	7
在宅支援部門	放課後等 DS	新型コロナウイルス蔓延状況の中、地域との交流を行う機会はなくなってしまったが、他事業所との状況確認や相談支援事業所・学校関係者などとの情報共有を細かく行いながら、利用者支援を行うことが出来た	7

③ソーシャルワークと生活環境

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	2つのエットに冷蔵庫を設置し、自立に向けた生活環境を整えている。また年間を通し各職員にフリー勤務を設置し、面談や社会体験支援、ユニット単位でレクレーションを実施する等有効に活用している。	5

部門	事業	取り組み課題	達成度
	生活介護・就労 B・移行・定着	感染症対策を行いつつ、利用者が安全に作業を行えるよう尽力してきた。コロナ禍の影響を受け仕事の量は減ったものの、特に利用者の体調に注意を払いながら、生産活動が持続できる体制を維持した。	6
地域生活部門	地域生活援助事業	古くなったエアコンの取り換え等行い、順次生活環境の改善に努めた。各ホームに非常勤職員の配置を行い、フリーの支援員を夜に配置することで面談等を実施したり、ホーム巡回を行い利用者とのかかわりを多く持っている。グループワークや誕生日会、季節の行事等ホームごとに企画し実施した。	7
	相談支援事業	特になし	
在宅支援部門	放課後等 DS	新型コロナウイルス蔓延による子ども達・保護者の不安を解消するための情報提供や電話相談・家庭訪問などより個別に対応することが多かった。学校の状況なども踏まえた中で、感染対策を行いながらも季節の行事や共同製作なども出来る限り行い、子ども達のストレス発散の場としての環境調整も行った	7

④就労支援事業の拡大

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	生活介護・就労 B・移行・定着	下請部門では、新規取引先との収入が思いのほか伸び悩み、半導体の影響も受け、受注が大幅ダウンした。下請軽作業に取り組み補填に努めた。食品部門では、原価と販売価格の見直しを図り、利幅を拡げるよう努めた。内需販売は継続的に行い、後半は、お弁当の受注もあり収入が多少伸びた。	6

⑤財政基盤の強化

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	障害程度区分の見直しを図り、3名の利用者が区分変更を行っている。また新たに2つの加算を算定し、区分変更同様に財政基盤の強化に取り組んでいる。	8
	生活介護・就労 B・移行・定着	生活介護事業、就労継続支援 B 型事業は、利用定員を維持出来たが、就労移行支援事業は中途利用の獲得が出来ず、定員割れをした。コペルタ全体の報酬は予算額に対して 96% 達成。	8
地域生活部門	地域生活援助事業	昨年度同様、定員は常に満床で 1 年取り組むことが出来ている。利用者の高齢化が進んでいるところもあるため、今後利用者の移行等も視野に入れながら利用者確保等行う必要がある。	7

部門	事業	取り組み課題	達成度
	相談支援事業	市、県の委託収入が主だが、収益事業である指定特定相談支援事業では、人員不足により減収となっている。	7
在宅支援部門	放課後等 DS	利用率向上の為、利用者の希望に応じた利用日数の増加並びに新型コロナウイルス禍における個別対応による報酬獲得、日中一時支援の利用調整など出来る限りの経営改善を図るよう進めた	7
総務部門	総務	各事業所が意識的に自立した運営を展開した成果があり、収入については若干の事業所を除き、当初予算を上回ることができた。結果、施設整備積立金を増額するに至った。	8

3、職員構成

令和4年3月31日現在

	園長	副園長	部長	課長	係長	支援員	栄養士
常勤	1	1	2	6	5	17	2
非常勤						46	

	看護師	調理員	事務員	合計
常勤	1	1	1	37
非常勤	1	2	2	51

4、定員等

令和4年3月31日現在

名称 種類	カビーナ		コペルタ			第二椿	宮久保	にじいろ
	施設入所 支援	短期入所	生活介護	就労継続 支援B型	就労移行 支援 (定着)	共同生活介護		放課後等 DS
定員	30	4	23	11	6 (-)	16	15	10
現員	30	2	25	12	4 (7)	16	15	30
定員外	0	0	2	1		0	0	20
合計	30	2	23+2	11+1	4 (7)	16	15	10+20

5、人材育成

(1) 研修実績報告

貴志園では、下図のとおり、施設（法人）で企画運営し実施している研修と外部機関等が実施している研修へ派遣する形で研修機会の確保を行っている。

施設内研修については、研修委員会が企画運営を行うもの、部署単位で実施するものと多様性を確保し、知識技術の向上だけでなく部署横断的な人材交流促進も図っている。

施設外研修については「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」で定められた法定研修と貴志園のキャリアパス制度に基づく階層別研修を実施している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い増加したリモート形式での研修への参加などの環境変化に対応しつつ、学習機会の確保に努めた。

(1) 内部研修

研修日	研修内容	受講職員
11月18日	貴志園新任職員研修	新任職員
6月19日(7月10日) 11月20日(12月11日)	貴志園全体研修	全職員対象
7月26日、9月27日、3月22日	接遇研修	採用2年目までの常勤職員
5・6・7・9・10月	ケース検討会	全職員対象
11月29日30日	法人新任職員研修	新任職員
その他	非常勤研修・期間職研修	各部署単位×2回

(2) 外部研修

研修日	研修内容	人数
5月19日	日本知的障害者福祉協会オンライン研修	1
6月30日	安全運転管理者法定講習	1
7月15日9月14日	サビ児管基礎研修	1
9月14日	令和3年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理者基礎研修	1
9月2・3・30 10月25・26日	初任相談支援専門員養成研修(一部オンライン)	1
10月19～21日 11月8・9日	主任相談支援専門員養成研修	1
10月21日11月11日 12月4日	意思決定支援ガイドライン研修	4
10月27日	サービス管理責任者更新研修	1
11月16・17日	強度行動障害支援者研修(基礎)	1
11月22/30日、12月13/21日、1月17/26日	相談支援専門員現任研修	5
1月24日	神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修	1
R4年2月1日、2月10日、 2月24日	令和3年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理者実践研修	1

6、年間行事報告(令和3年度の実績)

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	花見 自治会(中止)	
5		
6	自治会(中止)	フェスタ(中止) グループ旅行:栃木(6/26-27)
7	大掃除(入所) 災害備品組み立て(中止)	グループ旅行:栃木(7/3-4) グループ旅行:栃木(7/10-11)
8	自治会(中止)	

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
9	総合防災訓練 (9/1) 健康診断 (9/24) しらさぎ祭 (9/19) 害虫駆除 (9/17)	
10	自治会 (中止)	グループ旅行：栃木 (10/2-3) グループ旅行：栃木 (10/9-10) グループ旅行：栃木 (10/23-24) グループ旅行：栃木 (10/30-31)
11	インフルエンザ予防接種	グループ旅行：栃木 (11/6-7) グループ旅行：栃木 (11/13-14) グループ旅行：栃木 (11/27-28)
12	餅つき (中止) 自治会 (中止) 心肺蘇生法 (12/18) 大掃除 (入所) クリスマス会 (12/21) 忘年会 (12/28)	
1	災害備品組み立て (中止)	
2	節分 (中止) 自治会 (中止)	
3	総合防災訓練 (3/8) ひな祭り 自治会 (中止) 利用者健康診断 (3/19) 害虫駆除 (3/23)	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止により、イベント等中止になる可能性あり。 ・ 例年行っていた、レクは今年度は中止し、入所と GH のみの利用者であるが、感染予防を徹底し旅行は実施をした。 		

総務部門

生活支援部門 (カビーナ・コペルタ貴志園)

カビーナ貴志園 (施設入所支援・生活介護事業)

コペルタ貴志園

(就労継続B型事業・生活介護事業)

(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

生活支援部門 (マーレ貴志園)

ホーム貴志園 (地域生活援助事業)

相談センターゆいまる (相談支援事業)

在宅支援部門 (にじいろ貴志園)

にじいろ (放課後等デイサービス事業)

